

大規模盛土造成地に関わる 地質調査・地盤解析(ボーリング調査)及び安定解析 結果のお知らせ(天王南7丁目から北3丁目にかけての盛土)

令和5年10月に、「大規模盛土造成地に関わる地質調査(ボーリング調査)及び測量調査(断面調査)実施のお知らせ」の回覧文書で、天王地区の皆様へ地質調査などの実施のお知らせをご周知させて頂いておりましたが、大規模盛土造成地の盛土の一部(天王南7丁目から北3丁目にかけての盛土)で、安定解析が終了しましたので、結果とともにご報告いたします。

●今回の調査箇所は、右記地図の天王南7丁目から北3丁目にかけてです。



●今回の調査箇所は、過去に谷筋だった箇所を盛土で埋めた箇所です。

●大規模盛土造成地は、地震によって、宅地盤が揺れ動く現象があります。それを事前に防ぐために、今回の調査箇所では、地震が発生した際に盛土が安定するかどうかを計算しています。

谷埋め型



地質調査及び安定解析の結果、宅地盤は『安定している盛土造成地である』と判断しました。

地盤調査期間：令和5年11月上旬から12月上旬まで実施しました。

地下水位観測：令和5年12月から令和6年8月末まで実施しました。

【説明内容】

地盤調査(ボーリング調査)によって、宅地盤の盛土の深さ、盛土内部の層の構造・土質などを確認しました。

これにより、盛土の内部や盛土下の地盤が十分な強度を持つかどうか、安定性に問題がないか、地震発生時に地すべりや沈下のリスクがないかを調査いたしました。

具体的な調査としましては、ボーリング調査を行って取り出した、ボーリングコア(円柱状の岩石試料)を用いて、盛土の層ごとの土質分布状況の確認や降雨による地下水位が盛土の安定性に及ぼす影響の確認、また、サンプリングとして採取した土を用いての圧縮強度試験や透水試験などを実施しております。

一般的に、大規模盛土造成地では地震時において、盛土のり面先での崩壊や円弧すべり(斜面が崩れるときに、地盤が円弧状の軌跡を描きながら滑り落ちる現象)が多いことから、それらを想定した安定解析を実施しました。

安定計算の結果、常時、地震時とも安定しており、想定しえる地震に対しても比較的安定している盛土造成地であると判断しております。

なお、大規模な地震などの自然災害時には、盛土のり面等を観察していきますが、平常時を含む、盛土のり面等でひびわれ等の変化を見かけた際は、土木課までご連絡ください。

【調査についてのお問い合わせ】

いの町 土木課 都市計画係

■電話 088-893-1116